

食料安全保障アドバイザーボード会合（令和4年度第5回）
議事要旨

日 時：2023年3月28日（火）16:30～17:40

場 所：Web会議システムを用いたオンライン開催（非公開）

出席委員：野口委員、三輪委員、佐野委員、中井委員、平澤委員、石間委員

議 題：① 食品価格の動向について
② リスク検証の進め方について
③ その他（ウクライナ情勢等）

【議事概要】

（食品価格の動向やリスク検証の今後の進め方等について意見交換）

- 日本の食品価格の上昇は、米国やEU諸国と比較して相対的に低くなっているが、これは、価格転嫁が進んでいない、もしくは遅れているとも言える。日本の流通構造を考慮すると、価格上昇が遅れて現れるという見方も重要。
- 持続的に生産していけるよう生産者の手取り・収入を確保していくことが必要であり、適正な価格転嫁は生産者にも消費者にも資する。
- リスク検証については、継続的な取組として一定のサイクルで回していくべき。その際、対象品目の見直しやリスクシートの更新、同一リスク内における品目間の関連性の分析、突発的な事態の発生に対し新たにリスクを追加する等、状況の変化に応じ随時柔軟に対応していくことが必要。

（以上）